

## 農山村における地域づくり活動と外国人花嫁の参加の現状と展開

～山形県内陸北部の山村集落における事例から～

成人継続教育論研究コース 出川真也

### 1、本研究のスタンス・概要

国際結婚を巡る言説の対象とされる代表的な地域、東北の農山村に住むこと、すなわち、内部に入り込んでしまえば、なるほど、この国際結婚をめぐるテーマを語る事がとても難しいことに気づかされる。なぜなら彼女らは「外部者」によって課題・問題として語られることを好まない。これまで研究者・マスコミはその自明の「外部性」によって、ムラをそして彼女らを表象してきた。そのような表象のあり方は、彼女らの生活実践が、研究者やマスコミのあり方そのものに影響を与える事もない代わりに、彼女らにとっても影響を与えることがなかったように思われる。それどころか、一種の不快・不安感を与えたということもあるようだ。

それでもなお、ここで、ある山村集落を舞台に私がこのテーマについての事例報告を行うことは意義があるとする理由が存在していると思う。それは、近年の農山村の地域作り活動が、住民、行政、活動（運動）家・研究者の間に、より濃密で具体的実践的な新しい関係を創出しようとしているという、最新の状況である。現地の住民自らが今後の地域のあり方をめぐりまさに主体として具体的な行動を起こし始めていることに着目すべきである。しかもそれらの行動には、彼ら自身の生活地域範囲を超えた、より普遍的な意義付け・価値付けによって動機づけられ、彼ら自らによって語り始めている。本稿では、こうした最新の地域活動とそれに地域の女性たちや外国人花嫁の関わりを取り上げたい。ここに、学問的関心を超えて、現実社会の関心事として、外部の研究者・活動家が果たせる社会的役割が存在することを感じるのである。

お気づきの通り、私の研究スタンスは自明に与えられた「外部性」に依拠して「科学的・実証的・客観的」に、現地を一方的に表象することではない。現地住民と共に泣いたり、笑ったり、怒ったり、楽しんだりしながら、社会現実に同じ作業員としてかかわりつつ、共創しつつ表象することである。研究者自身が、彼女ら・彼らと社会を共創の作業員の一員であるべきという認識から報告を行いたい。

本稿では、はじめに1、現地において外国人花嫁を語ることの難しさを確認し、2、集落における外国人花嫁の日常生活実践の様相を見た後、3、地域集落の最新の活動展開と女性たちの参入、そして4、3事例、6名の外国人花嫁に登場してもらい詳しく見て行きつつ、農山村における共生・共創の地域社会作りへの糸口を模索する。

#### バイアス

事例として取り上げる集落の地域活動には、私自身が活動事務局（あるいは一活動家）として深く参入していることをあらかじめ示しておきたい。したがって、私は本事例に関して「外部性」を保有する意味での客観的研究者の資格を有していない。

## 2、目次

はじめに

第1節「現地」において外国人花嫁を語ることの難しさ・・・2

第2節 集落における女性たち・・・5

第3節 集落の新しい地域づくり活動の展開・・・7

第4節 山村集落の地域づくり活動にかかわる外国人女性たちの諸相・・・12

まとめ～地域づくり活動の中で紡ぎだされる共創への糸口～・・・17

参考資料文献

## 3、内容

① 現地において外国人花嫁を語ることの難しさ

- ・ 「課題」として語られるムラの国際結婚
- ・ 研究者・マスコミに対するまなざし～住民の不認知と地域作りの活動に貢献しない研究～
- ・ 最新の状況～地域活動の展開と研究者とのパートナーシップの模索～

② 集落における外国人花嫁の現状

- ・ 山村における農業と経済的厳しさ～地区の現況～
- ・ 日本人女性と外国人女性の目線～地域生活に対するまなざし～
- ・ 伝統的地域活動への女性たちの役割
- ・ 伝統的女性組織への参加・不参加

③ 集落の新しい地域活動の展開

- ・ 行政・学校施策としての地域教育活動の展開
- ・ ムラの良さの再発見、再評価～里地里山保全運動と住民主体の活動展開へ～  
外部参入者の増大～外部の目線を利用して地域住民が自分達を再発見、新たな価値付け～
- ・ 女性たちの新しい地域参加のあり方と外国人花嫁たちの参入

④ 山村集落の地域活動にかかわる外国人女性たちの諸相

- ・ 事例1 フィリピン人女性  
集落会長の妻として、活動への関わりと不満  
山村集落に対するまなざしの変化
- ・ 事例2 中国人女性たち  
郷土食講習会における中国餃子作り講習会の位置づけ  
自らの技術と知恵の再評価と活動展開への意欲
- ・ 事例3 韓国人女性  
外部との交流の関心、里親としての活躍

⑤ まとめ～地域づくり活動の中で紡ぎだされる共創への糸口～